
退屈なので。

萌百合雛乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
退屈なので。

【Nコード】
N5253P

【作者名】
萌百合雛乃

【あらすじ】
昨日、ふと思ったこと。

自分の役割とか、立場とか。

きつと誰でも考える。

僕はどれだけ力を持っているのか。
それは僕が生まれてから死ぬまでの間に
自分自身が見ることはできるのだろうか。
今のようにこの自分のテリトリーである
部屋から出ずとも、それは見れるのか？
もしもそんな力を持っていなかったとしたら
僕の何が今の僕を動かしている？

何を望んで飯を食い、寝て
絵を描いたり、部屋の窓を開けたり
好きな本を読んでいるのだろう。
好きな何かを持っているのだろう。

これは完全な欲であり、自分の行動力であるのに
間違いはないはずなのに
それ以外の何の力を自分はもっていればいと
望む？

誰も救ってくれはしない。
メリットやデメリットの世界に
人間は生きている。
誰も何もしてくれないから、
僕は何もしない。
それを誰よりも分かっているのに
手は出ている。
目の前に座り込んだこの子に
手がでている。

確かにさしのべた手がここにある。

僕に何ができる？

この子に対して僕はどれだけの力を
持っている？發揮できる？

不確定なものは嫌いだ。

無責任は嫌いだ。責任って何だ。

そうすると、この手は。

何か悩んでいたって

何か苦しんでいたって

どうせ自分が言ったところで何が変わる。

自分に何ができる。

僕が何を持つという。

悲観的と言っていいのか

諦めているというのか、

それすらもわからないでいる。

僕は何を諦めている。

僕は何を見ている。

胸が締め付けられる。

この胸の痛みは何だ。

この子を見ているからか。

この子の瞳にうつる

僕自身を見ているからか。

痛々しいこの子を見ているより

その子を見ている僕を

見てしまう。

それが人間。

それでも人間。

だから僕は死なずとも生きない。

人間はベールに包まれてすらいない。

ただ、どの人間も自分をベールに包みたいと、
全てを包んで、何もなかったことにしたいと、
そう願っている。

そして僕は

またいつもと変わらずに

太陽がまぶしく反射したガラスの窓に

いくつかのいらつきを覚えてカーテンを閉める。

さあ、夜だ。

退屈だな、寝るか。

(後書き)

思ったこととか現代の若者たちってこういうことも
考えたりするのかなああ、とか思いました。
実際、私もクズでニートタイム生活してるので
こんな気持ちになったりして。

共感できる人、いるのかな。 笑
いると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5253p/>

退屈なので。

2010年12月16日07時25分発行